

山东师范大学
硕士研究生入学考试试题

日语语言文学

考试科目：

基础日语 713

- 注意事项：1. 本试卷共 四 道大题（共计 一 个小题），满分 150 分；
2. 本卷属试题卷，答题另有答题卷，答案一律写在答题卷上，写在该试题卷上或草纸上均无效。要注意试卷清洁，不要在试卷上涂划；
3. 必须用蓝、黑钢笔或圆珠笔答题，其它均无效。

問題一、次の I と II の文章を読んで、後の問に答えなさい。答えは、1、2、3、4 から最も適当なものを一つ選びなさい。(62 点)

(I)

元来親族用語は、ある特定の話者を定めた時、初めてその内容が決定されるような自己中心語に属する。ある話者が「父」と言い「母」と称する人は、その人にとってのみ父であり、その人から見てのみ母と呼ぶことができる対象であって、自分以外の父や母を言うときは、「誰々の父」のように修飾する必要がある。本来の親族用語は、相対的なものなのである。

(①) 日本語では、父や母のような親族語はその (ア) 性を失って、(イ) 的な語として機能していると考えることができる。例えば、②家の中で母親が子どもに向かって、「あなたのパパはどこ？」とか「お前のおとうちゃん、遅いわね」などは決して言わないし、言うことはできないのである。一軒の家には、父、母、祖父、祖母などと呼ばれる地位があるが、その地位を占める者の名が「おかあさん」であり「おとうさん」なのだ日本人は受け取っているのである。だから夫が妻を「おかあさん」と呼んでも不思議ではないし、一家の祖母に当たる人が、自分の息子を「おとうさん」「パパ」と呼ぶこともあり得る。このような場合の親族語は、もはや「私の」とか「子供の」という原点を失った、「うちのおとうさん」「うちのかあさん」という意味なのである。

家庭外で、相手を先生とか、課長と呼び、名前や人称代名詞をなるべく使わないのも、その場に合ったヒエラルヒーを設定し、その中での位置付けをすることで相手を把握するものと言えよう。つまり、相手を一個の個人とは見ないで、相手を家庭をはじめ、職場、社交、その他いくつかヒエラルヒーを背負った存在と考え、ヒエラルヒーの中の相手と自分の上下関係や相関関係から、言語的に、どのように自己を把握するかが

決定されるのだ。そしてこの決定は、一般的な言葉遣い、適当な敬語の選択、そして全身的な態度にまで影響を及ぼして行くのである。

日本人の言語によるこのような自己定位は、いま述べたような相手を規定し終えた後ではじめて可能になる。だから、相手の素性が知れていれば楽なものである。

例えば小学校の先生をしている一人の男を考えてみよう。彼は自分の子供に向かうときは、自分のことを「(a)」と呼ぶが、誰か子供の友だちが遊びに来れば、「(b)」である。妻に対しては自分のことを「(c)」と言うかも知れないし、学校で校長と話すときは「(d)」とかしこまる。

これに反し、相手の素性が知れない時には非常に困ってしまう。見知らぬ他人、社会的に位置付ける手がかりのつかめぬ相手に対し、我々日本人が気安く言葉を交わせない原因の一つは、ここにあると考えられる。しかも現代では、そのような相手と、否応なしに、何らかの人間関係を結ばなければ、生活していけないような状況が目増しに多くなる一方である。一部のサラリーマン階級から始まったと言われる「おたく」を、「あなた」でも「おまえ」「きみ」でもない、(③) に対する呼び掛け語として使う習慣なども、ヒエラルヒーに無関係な対称語を求める無意識の努力の現れではないかと思われる。よく日本人には真の意味の対話がないと言われるが、「話し手」と「聞き手」という抽象的な機能のみを表示する適切な用語を積極的に求める努力が、今ほど必要なきはないと思うのである。

(鈴木孝夫『ことばと社会』による)

問1 (①) に入る適当な語はどれか。

- | | |
|--------|---------|
| 1 ただし | 2 そこで |
| 3 ところが | 4 かといって |

問2 ア、イに入る適当な語はどれか。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 ア：絶対 イ：相対 | 2 ア：相対 イ：絶対 |
| 3 ア：一般 イ：相対 | 4 ア：相対 イ：一般 |

問3 ②「家の中で母親が子どもに向かって、……言うことはできないのである。」とあるが、それはなぜか。

- 1 日本語の親族語は子どもの立場から相手をとらえた言い方はしないから。
- 2 「あなたのパパ」といった方は煩雑であり、「誰の」は言わなくてもわかるから。
- 3 日本語の親族語は自分の立場から相手をとらえた自己中心語だから。
- 4 日本語の親族語は家庭内の地位を表す語で、「誰の」は言う必要はないから。

問4 a～cに入る適当な語の組み合わせはどれか。

- | | | | |
|--------|--------|------|-----|
| 1 a：パパ | b：おじさん | c：おれ | d：私 |
|--------|--------|------|-----|

- 2 a : お父さん b : 先生 c : 僕 d : 私
 3 a : お父さん b : おじさん c : おれ d : 僕
 4 a : 父 b : 先生 c : 私 d : 僕

問5 ③に入る適当な語はどれか。

- 1 自分より目上だと考えられる相手
- 2 自分と対等であると考えられる相手
- 3 名前を知らない取引先の相手
- 4 素性がわからない相手

問6 ④「よく日本人には真の意味の対話がないと言われる」とあるが、それはなぜか。

- 1 日本人は、相手を先生とか課長とか呼び、相手の名前を呼ばないで対話する習慣があるので、対話が他人行儀になってしまうから。
- 2 日本人は、いつも相手がどう思うかを気にした話し方をして、自分の考えや気持ちをはっきり伝えようとしないから。
- 3 日本人は、相手を一個の個人とは見ないで、常にヒエラルヒーの中の相手と自分の上下関係や相関関係にたった対話をするから。
- 4 社会的に位置付ける手がかりのつかめぬ見知らぬ相手と、日本人は対話することができないから。

(II)

①縁は、まことに異なるものがあり、味なものがある。

ここにいう縁とは、すまいの縁、すなわち縁側やぬれ縁のことである。このような縁があることによって、日本の住宅は、その物理的な狭さにもかかわらず②心理的な狭さをあまり感じないで済む。座敷から、あかり障子と縁側のガラス障子をとおしてみる庭、それは、室内の落ち着いたの中に、四季の変化を楽しむ、日本の住まいの最も優れた生活空間の一つの場面だ。また、えんがわの障子をあけはなせば、座敷と庭は、縁をはさんでひとつづきのものとなる。夏の午後など、縁側の涼風を受けながら、うたた寝をしていると、庭の木陰で昼寝をしているのと同じような気分になるだろう。つまり、縁側は、もう庭なのである。

そこで、こういう外部空間でもなければ内部空間でもないぬれ縁などを、一部建築家のあいだでは、「つなぎの空間」とか「第三の空間」などというようによんで、③純然たる内部空間や内部空間と区別しているのである。

縁はふちとも呼ばれるように、もともとは、昔の中国服の袖や裾についているピラピラした「ふちかざり」のことをさしていったものである。服の袖や裾にふちかざりをつけるには、いくつかの理由がある。

ひとつは、きものの糸がほつれてくるのをふせぐための、ぬいとりを兼ねた「隅おさえ」であるということ。第二に、きものの端部のすりきれの補強と、さらにすりきれたときに、新しいものとりかえのきく「互換品」としての意味を持つ。

このきもにおける縁の④機能を、日本の住まいに置き換えてみると、⑤同じようなことが言える。□A、本や紙、畳というやわらかい材料で作られた日本の住まいの外周を、それは補強しているのである。もし縁がなければ、開放的な日本の住まいでは、雨や直射日光が直接室内にはいりこんできて、畳や障子、土壁などをいためつけるであろう。日本の住まいがやわらかい材料でできているということと、開放性をもつということを前提とすれば、⑥物理的にいっても、縁は欠かせないものである。そしてそれは、また、⑦「遊びの空間」としても重要だ。座敷が格式的な空間なら、縁は格式にとらわれない自由な空間である。そこには床の間もなければ、額もない。したがって、上席も下席もない。座敷で宴がはじまるまえ、あるいは宴がおわったあとに、人々が自由にくつろげる場所なのである。

(上田篤『日本人とすまい』による)

問1 文中下線部①は「縁は異なるもの、味なもの」といういいならわしを踏まえている。この言葉の本来の意味を簡潔に説明せよ。

問2 文中下線部②は何のどのような働きによるものか、本文中の語句を用いて20字以内で説明せよ。

問3 文中下線部③にあたるものを、本文中から一つずつ抜き出せ。
内部空間→
外部空間→

問4 文中下線部④の意味として最も適当なものを、次から選べ。

①しかけ ②働き ③能力 ④かなめ ⑤きっかけ

問5 文中下線部⑤は何がどのように同じなのか、本文中の語句を用いて回答欄に合うように、40字以内で説明せよ。

() 点で同じである。

問6 文中下線部(6)と文中で対比的に用いられている語を抜き出せ。

問7 文中下線部(7)の具体的な説明となっている箇所を本文中から二箇所、それぞれ15字以内で抜き出せ。

問8 文中空欄□Aにあてはまる語として最も適当なものを、次から選べ。

① るいは ②しかし ③ところで ④すなわち ⑤そして

問題二、次の中国語を日本語に訳しなさい。(25点)

1. 那温暖的话语给了雪子无尽的安慰。知道自己生病以来她第一次没有感到寂寞和孤独，有了好好生活下去的勇气和愿望。
2. 总的说真如“枪打出头鸟”这一谚语所说的那样，这个社会无论什么事情，如果想要出人头地，那么你要遇到的阻力就会很大。
3. 对每天无所事事闲逛着玩的人来说这也许称得上逍遥自在。可是在我看来这实在浪费时间，只能说太傻了。
4. 已经是阳春三月，日本列岛的南部早已樱花盛开。可北海道的札幌却下了大雪，积雪达一米深，致使市内的交通一时中断。
5. 日本江戸时代的锁国政策，差一点使日本也成为沦为西方列强的殖民地。明治维新结束了锁国状态，实行对外开放政策，大量吸收西方的先进东西，使日本一跃成为亚洲第一个工业国。

問題三、次の日本語の文章を中国語に訳しなさい。(23点)

わたしは、人の恋愛感情というものが想像できない。この人たちがどういう感情の元で結びつき、留まっているのか、大きな謎だ。少なくとも、今日の前を通り過ぎていく彼らと、わたしが昔からやっていることは、別だという気はする。

子さんとの食卓で、告白してみる。「彼氏が」どう思われようがかまわないと思うと、無性にいろいろとしゃべりたくなる。が、箸と皿の音しかしない中そうやって切り出すと、いきなり間違っような気分になった。

「最悪だ」そういい残して、出てきてしまった。恋の終わりは予想以上にあっけなかった。わたしが待っていた自然の流れというのは、こういうことなのだろう。いってはみたが、よく考えてみれば言葉に出すほど最悪でもなかった。

女の子は、頭の高いところで形よく髪をふくらませ、きちんと化粧している。わたしはというと、仕事場で顔をいちから作るため、ひつつめ髪にすっぴんで、どうでもいい古着のTシャツ姿だ。

ここに来る前は、母と暮らしていた。父と母はわたしが五歳の時に離婚し、それ以来ずっと母と二人暮らしだ。父親がいないという子たで、自分をかわいそうに思っていたときもある。不良少女の道も歩みかけたが、どうすればいいのかわいまいわからなくて、よした。

問題四、作文：(40点)

私に関心を持つ日本事情

日本語作文の正しい書き方に従って、1500字ぐらい書きなさい。